

石狩市では、
市内の自然環境や生物多様性を
守るための活動に取り組んでいます。



アカモズ（亜種アカモズ）

★アカモズについて
詳しくはこちらを
ご覧ください →



- ◆繁殖のため5月ごろ日本に飛来するモズ科の鳥類。夏鳥。
- ◆開発による生息地の悪化や減少等によって個体数が減少しており、世界で約200個体しか生息していません。
- ◆環境省のレッドリストでは、「近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの」として絶滅危惧ⅠB類に指定されています。

※レッドリスト…

絶滅のおそれのある野生生物のリストのこと。
国内では環境省や地方公共団体などが作成している。

ウラ面も
あります！



- ＊『いしかり生きものの便り』では、石狩市の生き物や石狩市が取り組んでいる生物多様性保全のための活動について、不定期で何号かにわたって紹介します。
- ＊身近な生きものについて知ることができ、「あれ？この生きものは？」と興味を持っていただけるような情報を皆さまにお届けできましたら幸いです。

石狩で命をつなぐアカモズ

★石狩市内では、5月中旬ごろにアカモズが南方から海を越えて飛来し、巣作り、産卵、子育てを行います。



アカモズ

★日本でしか繁殖しないアカモズにとって、石狩は、極めて数少ない繁殖に適した環境が残された貴重な場所です。



子育て中は、遠くから見守ろう

★アカモズは非常に警戒心が強く、人が巣に近づくと「ギチギチギチギチ…」という警戒声を発します。



★人が巣に近づいたり、長時間観察や撮影をされると、巣を放棄する、ヒナに餌を与えられなくなる、警戒声



アカモズの警戒声→

を発することでカラスに巣が見つかってヒナが食べられる、といったケースなどが起こります。実際に、石狩に生息するアカモズの約10%は

人の接近が原因で繁殖に失敗しているといわれています。



石狩市では、市内の生物多様性を守るためアカモズの調査・保全活動を実施しています

アカモズの生息状況をモニタリングしています

★アカモズの保全のため、石狩周辺のアカモズの個体数や繁殖状況を把握するためのモニタリング調査を実施しています。

★調査には、鳥類の専門家を含む『石狩アカモズ保全ネットワーク』のメンバーが関わり、アカモズの繁殖に配慮した調査を行っています。

↓調査の様子



アカモズの見守り活動を推進しています

★アカモズの保全のため、石狩のアカモズを知っている人だけでなく知らない人にも向けて、観察の際の注意点を呼び掛ける看板やポスターをさまざまな場所に設置しました。

★ポスターはこちらの二次元コードからご覧いただけます。

アカモズの見守りポスターはコチラから！



↓観察の際の注意を呼び掛ける看板

